

一般質問通告書一覧

平成28年度新城市女性議会
平成28年11月14日

新城市

平成28年度新城市女性議会一般質問通告者順序表

11月14日（月）午後1時～

- 1 熊崎 直美 議員（通告時間15分）
 - ・ 大規模地震等発生時の新城市の災害弱者への対応について
- 2 太田 幸江 議員（通告時間15分）
 - ・ 作手小学校新校舎・山村交流施設について
- 3 澤上 花子 議員（通告時間15分）
 - ・ 女性が活躍できる、輝いて働けるまちにするための支援体制について
- 4 内藤 里巳 議員（通告時間15分）
 - ・ 年配の方の力を活かすまちづくり
- 5 遠山 恵理 議員（通告時間15分）
 - ・ 重症心身障がい児等の地域支援について
- 6 中尾 恭子 議員（通告時間15分）
 - ・ 新城市の森林政策について
- 7 長坂 美菜子 議員（通告時間15分）
 - ・ 子どもの作業療法を新城で受けられるように
 - ・ ひとり親世帯への学童の保育料の減免について
- 8 長坂 佳子 議員（通告時間15分）
 - ・ 中心市街地の活性化について
- 9 齊藤 美代子 議員（通告時間15分）
 - ・ 公共施設の有効活用と整備について

女性議会一般質問通告書

氏名 熊崎 直美

テーマ	大規模地震等発生時の新城市の災害弱者への対応について
現状・課題 提案事項	<p>私は今、知的障がいのある子供を育てています。</p> <p>新城市では「レインボーはうす」や、「もくせいの家ほうらい」などの福祉施設がありますが、現在は定員一杯に近く、将来的に利用できないのではないかとといった心配の声があがっている状況です。</p> <p>そのような状況の中、大規模な災害が起こり、避難所生活が長期化した場合に、障がい者などの災害弱者と言われる人も安心してすごせるようにすることが重要であると考えます。</p> <p>そこで、福祉避難所となり得る市内の施設も限られている中、今まで以上に受け入れ可能施設を増やす、また、一般の避難所であっても災害弱者に配慮された体制を執ることができる仕組みを構築するなどの対策をしてはどうかと考えます。</p>
質 問	<p>(1) 災害が起こって福祉避難所が開設される時、新城市には指定福祉避難所が5つありますが、知的障がいや発達障がいなどに対応できる避難所は「レインボーはうす」しかないと思われます。このままの状況で良いとお考えですか？</p> <p>(2) 他都市の社会資源との災害提携をするという事などは考えていないのですか？</p> <p>(3) 実際に避難所生活を送る事になった場合、一般の避難所であっても障がい者と健常者がトラブルなくすごせるよう市民への理解を広める働きかけを行っていただきたいと思いますが如何ですか？</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 太田 幸江

テーマ	作手小学校新校舎・山村交流施設について
現状・課題 提案事項	<p>現在建設中の作手小学校新校舎は、同じ敷地内に山村交流施設を併設し、一部のスペースを共有するなど、新しい考えで作られた施設となっています。この施設は、児童と保護者・地域住民が、様々な活動を通して異世代交流する場となることが期待されています。</p> <p>作手地区では、平成29年3月の作手小学校新校舎竣工に向けて、作手小学校設立準備会を立ち上げ、様々な課題について話し合ってきました。作手小学校設立準備会は、現小学校の有効的な利用方法、作手小学校新校舎設立に係る諸準備、及び山村交流施設の利用検討を進めることを目的に活動しています。また、下部組織として、山村交流施設活用推進コーディネーター会を作り、施設のよりよい活用の仕方を、音楽・ホール、図書、調理、子育て、その他の5つの部会に分かれ、作手に既存の団体構成員が集い検討しています。私の参加している図書部会を例に挙げれば、あめんぼ読書会とこども園や小学校の読み聞かせグループなどの会員が集まり、図書室の運営の仕方や蔵書・備品の選定などを一つ一つ検討してきました。</p> <p>去る7月31日には、児童の父親が中心となって上棟式を開催したところ、約380名が参加する盛大な式となり、新しい施設への期待の大きさを感じる結果となりました。</p> <p>他にも、作手地区では市内一斉共育の日に「つくでっ子元気事業」を開催し園児・児童・生徒・保護者・地域住民が伝統音楽やパフォーマンスを鑑賞する機会を設けています。</p> <p>このように作手地区は、共育を体現しようと取り組んでおり、共育モデルを築く（共育施設を地域と共に使いこなし、共に学び育つ地域を作る）ためには、山村交流施設がその中心を担うことが期待されています。</p> <p>しかし、山村交流施設の開館まで約半年となった現在でも、運営にかかわる予算や配置される職員について、設立準備会からの質問に対し、市から明確な回答をもらえていないのが現状です。そのため、コーディネーター会を中心に計画してきた施設の運営や利用が、本当に実現可能なのか、共育施設として機能していくのか不安が募ります。</p>

質 問	<p>(1)児童の安全と施設の十分な活用のために重要となる管理者を含めた職員の配置をどのように考えていますか。</p> <p>(2)山村交流施設を中核として作手地区が取り組んでいく共育活動を、全国へ発信していくような共育推進モデルと捉え、サポートしていく考えはありますか。</p> <p>そして、運営予算のサポートを考えていますか。</p>
-----	--

女性議会一般質問通告書

氏名 澤上 花子

テーマ	女性が活躍できる、輝いて働けるまちにするための支援体制について
現状・課題 提案事項	<p>私は、市内で菓子店を営んでいます。</p> <p>お菓子屋さんになる事を夢みて五年前お店をはじめました。スタートラインに立つまでの準備、販売方法、経営について素人の私は手探りでした。好きなお菓子作りを続けていく為に、今も一歩ずつ進んでいます。</p> <p>職種は異なりますが、私の周りにも自分の資格を活かして一歩を踏み出して事業を始めている人もいます。そういった人を増やす、またはさらにステップアップして事業を拡大する為に新城市にも支援する体制があるとより事業がすすめやすいのではと思います。</p> <p>将来、未来を担う子供達も含め10年20年先50年先、自分らしさを発揮し活躍する女性であふれる輝く新城市になる事を願います。</p>
質 問	<p>女性がもっと活躍するために市の支援体制についてお伺いします。</p> <p>(1)資金面でのサポート体制について教えてください。</p> <p>(2)運営を効果的にするための人的なサポートはありますか。</p> <p>例えば、同業者の方に話を聞けるようなネットワークがあるとステップアップにつながると思います。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 内藤 里巳

テーマ	年配の方の力を活かすまちづくり
現状・課題 提案事項	<p>営業という仕事柄、伺う先々のご家庭で年配の方とも言葉を交わします。ご自身の必要性を求めてみえるのではと感じるのは私だけでしょうか。少子高齢化が加速する新城市…であるのであれば利便性だけを追求するのではなく、その敬老都市を具体的にアピールし、同時にお年寄りには老いの自立を若者には不自由だからこそ生まれる自由な発想がある事を体感できる市にできないだろうかと考えます。</p> <p>一日の終わり、家族団欒の一時、向き合う相手がスマホやパソコンではありませんか!? 職場で普通の電話を取る事ができない若者が増えつつあるとお聞きします。それを時代の流れとせず問題視し、人が人によって活かされる市であってほしいと思います。消滅可能都市などと云う汚名は返上しコミュニケーション充実都市になるべく以下の質問をさせていただきます。</p>
質 問	<p>(1)新城市では年配の方々の活躍、活動の場はどんな所にありますか?またそのお知らせ方法について教えてください。</p> <p>(2)世代、年代の異なる人同士のコミュニケーションを密にすることはできませんか?例えば、年配の方が当たり前にやってきた子育てや郷土料理、その他生活全般について若い世代に伝える手段として、昨年の女性議会の提案をもとに実現された『新城市子育て情報ナビ咲くら』の中に『おばあちゃんの知恵』のようなコーナーを作り、伝えることはできますか。</p> <p>(3)年配の方が日頃つくっている家庭料理のなかには、とてもおいしい郷土料理があります。これらに光を当てて、こども園や学校の給食のレシピに加えることなどして、若い世代に伝えることはできないでしょうか。レシピの集め方としては、レシピコンテストなどを実施し、ご年配の方が参加することで『力』を活かすのはどうでしょうか。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 遠山 恵理

テーマ	重症心身障がい児等の地域支援について
現状・課題 提案事項	<p>私は、新城市で生まれ育ちました。就職で一度県外へ出ましたが、結婚後、市内にて有機農業の研修をし、新規就農しました。現在、小6と小3、二人の子どもを育てながら農業をしています。</p> <p>小6の娘は568gと超低体重出生でした。このため、脳性麻痺による体幹機能の障害を持ち合わせながら暮らしています。娘の育ちを振り返った時、医療・療育・教育・生活の様々な面で戸惑うことが多くありました。いわゆる、重症心身障がい児の育ちにおいて、各分野での支援は不可欠です。市内でも、その充実に日々努力して下さっている多くの方々のお力添えもあり、どの子ども育つ新城版子ども園や、長期休み中のデイ活動の場が整えられました。また、障害児施設等通所交通費助成事業の検討も当事者参加型で進められています。こうした動きに対し、日々、感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>しかし、吸引や胃ろうなど医療的ケアのある子ども達や、視覚・聴覚に障がいのある子ども達への支援がまだ不足しているのが実情です。全体から見れば少数の子ども達ではありますが、大切なひとりひとりです。社会的な配慮の格差が日常化しないよう、どの子ども育つ新城市づくりに、お力をお借りできたらと考えます。</p>
質 問	<p>(1)市外へと長距離通学をしている子ども達に対する教育保障について、どのように考えておられますか。</p> <p>また、その保護者に対し、市域が広く社会資源が少ない新城市であっても住み続けられるために、経済的な負担軽減だけでなく、移動支援などによる精神的・体力的な支援について具体的な策を講じていただけないでしょうか。</p> <p>(2)ヘルパーによる医療的ケアの研修支援や、日中一時支援、災害時の適切な支援など在宅生活を充実させるために、新城市の地域事情を考慮した独自の策などを講じていただけないでしょうか。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 中尾 恭子

テーマ	新城市の森林政策について
現状・課題 提案事項	<p>新城市の森林面積は市の面積の 84%を占め、うち 86%は個人所有の森林となっています。森林は、木材生産はもちろんのこと、水源涵養、国土保全、生物多様性等の公益的機能を有し、我々の生活を根底から支えているものです。</p> <p>ところが現在、放置された森林が多く見られます。ほとんどが戦後の拡大造林期に植えられたスギヒノキ林で、伐採期を迎えています。手を入れられていません。その原因として、木材価格の低迷により森林所有者が森林を管理する意欲をなくしていること、一部の森林に関しては所有者やその所在が不明であることが挙げられます。</p> <p>手入れ不足の人工林は土砂災害等の原因となる可能性があり、人工林に継続的に手を入れるためには、国産材の消費を拡大することが重要であると思います。一方で現場作業員の高齢化が進んでおり、今後は人手不足が深刻な問題になると予想されます</p> <p>以上のことから、新城市の森林政策について伺います。</p>
質 問	<p>(1) 地元産木材の消費拡大について、どのような取り組みがなされていますか。特に、地域によっては材に枝虫が入ってしまい、強度に問題はないものの価値がかなり低いと聞きますが、枝虫材に価値を与えるような対策は考えられていますか。</p> <p>(2) 森林の集約化を進め、高性能林業機械を導入した効率的な管理を行っていると思います。一方、所有者不在や急傾斜で機械が入れない等、様々な理由で集約化できない森林があると思いますが、そういった場所の管理についてはどのようにお考えですか。</p> <p>(3) 後継者不足をどのように解決しようと考えていますか。また、新規就林希望者をサポートする体制はありますか。(緑の雇用制度以外で)</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 長坂 美菜子

テーマ	<ul style="list-style-type: none">・子どもの作業療法を新城で受けられるように・ひとり親世帯への学童の保育料の減免について
現状・課題 提案事項	<p>新城市内では、現在、発達障がい等の子どもが定期的に言語療法を受けられる環境は整っていますが、作業療法を受けられる環境が不足しています。</p> <p>このため、わが子に作業療法が必要と言われた親御さんは、豊川市や豊橋市の医療機関まで通わねばならず、しかも予約が一杯なため、より望ましい回数を受けることがかなわなかったり、年齢で断られてしまうこともあります。</p> <p>言語療法と同様に作業療法の需要はとても多く、市内で受けられるようになれば、発達障がいの子どもの育てる親の不安も負担も少なくなり、何より子どもの将来にとって大きなプラスになります。</p> <p>不器用さから、こども本人が頑張っても上手くできず、大人も間違った指導をしてしまい、心が傷つく子どももいます。</p> <p>作業療法が必要な子どもが作業療法を受けられる環境が市内に必要だと感じています。</p> <p>また、学童保育は年々需要が増えています。</p> <p>最近でも、新城小学校の学童が場所を教室内に移動したり、また、平日でも4年生以降の受け入れを始めたと聞き、学童改善に対応して下さっているなど感じます。</p> <p>学童の保育料に関してですが、こども園での保育料は、ひとり親世帯だと第1子は半額なのに対し、学童の保育料は、生活保護世帯に対する減免制度はあっても、多子やひとり親の世帯への減免制度はありません。</p> <p>特に、ひとり親世帯は働くためにも学童保育の必要性が高く、しかも所得が高いとは言えない場合も多くあるため、減免制度が必要だと感じています。</p>

質 問	<p>(1)作業療法に関して 新城市内で子どもが作業療法を受けられる場所を作る予定はありますか。 また、あればいつ頃から利用できるか教えてください。</p> <p>(2)学童の保育料に関して ひとり親世帯に対する学童保育の保育料を減免する制度などの必要性は感じていらっしゃいますか。 また、そのような制度を作る予定などはありますか。</p>
-----	--

女性議会一般質問通告書

氏名 長坂 佳子

テーマ	中心市街地の活性化について
現状・課題 提案事項	<p>新都市の中心市街地における衰退化は、新都市の抱える大きな問題となっています。</p> <p>また近年では、新城、豊川インター間バイパスにより、市街地の疲弊は進むばかりです。</p> <p>そんな中でありながらも、行政としては「市街地整備改良事業」や「商業活性化事業」等、様々な策を長年に渡り講じておられるようです。</p> <p>中心市街地における大きな計画としまして、新城駅前開発の話は、まさに長年にわたる計画として市民の中でもささやかれてきたことでしょう。それに合わせて中心市街地の衰退は進むばかりです。発案当初と比べると、明らかに街の状況が変わりすぎています。</p> <p>そんな現在の状況を考慮しての計画変更は、「電車を利用したいが駐車場がない」等の声には答えられるが、このような事業は進捗するも市街地整備と商業活性化が一本的ではないと考えられます。</p> <p>今までにも、商業者や行政が一人の住民の立場から、駅前に望まれる「まち」を語り、魅力づけの方法を検討してきたと思います。また、各自が最大限可能な範囲で「まち」に資産を築き、実需に対応した再開発を実現したくても、余力がないのが実情です。</p> <p>新城の「まち」の魅力を高めるために、今まで通りというわけにはいきません。</p> <p>今まで店番として商店を守ってきた女性も、今出来ること…を常に考えていくべきと思うのです。</p> <p>まち並みの景観を、ほんの少し良くすることで、個性的な商品サービスを提供する意欲へとつながってほしい。その為に私は新城の町並を「暖簾のかかる街」にしたいのです。</p> <p>商工、行政における協働作業が功をなし、そして「まち歩き」を楽しめる街、周遊人口の確保、とつながってほしいと思っています。</p> <p>そこで以下の3点について質問します。</p>

質 問	<p>(1) 新城駅前開発において、立案当初とは街の状況はあまりにも変わりすぎています。それでも計画はなくなることなく、駅前広場等への計画に変更されたようですが、その計画における現在の中心市街地への効果についての考えをお聞かせください。</p> <p>(2) 中心市街地には空き店舗も多く、シャッター街とも言われる状況の中、そんな空き店舗へのリノベーション、地元高校や若者への起業等、行政としての支援の考えはあるのでしょうか</p> <p>(3) 新城市の中には、新城市活性化のための様々な団体が存在しておられるようです。おそらく個々に情報発信はされているとは思いますが、一般に認知度が低く情報発信力の低さを思われます。何か行動を起こしたい時に手助けとなる団体への架け橋になるための手段についてお聞かせください。</p>
-----	--

女性議会一般質問通告書

氏名 齊藤 美代子

テーマ	公共施設の有効活用と整備について
現状・課題 提案事項	<p>作手地区には平成 29 年度に作手小学校、山村交流施設が完成し、地域の新しいシンボルとしてスタートされていきます。新しい小学校の完成は旧 4 校がようやく一つになり子どもたちも安心して勉強、運動に励んでいけると思います。また地域住民も快く気楽に集まれる場所として山村交流施設に期待しています。</p> <p>しかし、高齢化、少子化、人口減少が続く中で、近所との付き合いや一日会話しないで過ごす高齢者、バス通学により子どもの姿を見ないという現状もますます進んでいくと思います。</p> <p>地域には老人憩いの家や小さな集会場がそれぞれ配置されていますが、普段はほとんど人々がよらない場所になっています。特に以前は遊具等が配置されていましたが事故等を想定されすべて撤去されています。歩いて遊びに行く場所がなくなりました。</p> <p>私は、今作手地区で仲間を集めボランティア活動「地域の福祉を考える」を始めようとしています。まずは本年度から学童のスクールガードから始め、今後は憩いの場所・サロン作りやファミリーサポート等の取組みを考えています。みんなが歩いて行ける「居場所」気軽に利用できる場所が身近にあると活動し易いと思います。</p> <p>山村交流施設だけでは地域福祉は十分にまかなえないから、近くの居場所が必要となります。今、近所の人々が集まる場所が小さくてもたくさんあり、人と人が繋がる場所として、遊休施設などを有効に利用したいと思います。</p>
質 問	<p>(1) 現在、新都市において利用の少ない施設の現状と今後の方向性、整備や利用方法についてお伺いします。 (作手の保健センター・中央老人憩いの家 等)</p> <p>(2) 以前「老人憩いの家」などに配置されていた子どもたちの遊具の新たな設置の予定はありますか？ (子どもと地域住民とのふれあいの場所づくり)</p> <p>(3) 廃校施設の活用については今後どのような展開で行われていきますか？ (小学校 4 校の跡地対策)</p>